



社会医療法人近森会

発行

2012年12月25日

びろっば

1

Vol.318

www.chikamori.com

高知県高知市大川筋一丁目1-16 〒780-8522 tel. 088-822-5231 発行者 ● 近森正幸 / 事務局 ● 川添具

新しい日本の 病院モデルを目指して

近森会グループ理事長 近森 正幸



2010年の春からスタートした5カ年計画は、3年近くが経過しました。高齢社会の到来や医療の高度化によって業務量は増大し、従来の医師、看護師中心の少数精鋭の医療では対応できず、多職種による多数精鋭のチーム医療で対応しなければならない時代となりました。そのため、高度医療にも耐えられる設備投資と、患者さんの治療空間の拡大も求められ、ハード面での全面的な見直しをせざるを得ず、今回の増改築が始まりました。

2011年4月の管理棟の完成に続き、11月には外来センターがオープン、完全予約専門外来として専門性の高い外来診療を行っており、ERでの救急対応と相まって、急性期病院としての外来のあるべき姿を追求しています。

高知県で初となる SCU

2012年4月1日には北館病棟が完成。県内初となる脳卒中専門のSCU (Stroke Care Unit) を15床設置し、脳外科と神経内科の先生方が多職種とのチーム医療を通じて、脳卒中の質の高い医療を展開しています。HCU16床も整備され、検査機器も完備、小規模ですが急性期医療に耐えられる病棟になっています。本館病棟が完成すれば、超急性期医療を補完する病棟となります。

新館のサポート機能を担う管理棟別館

7月1日には管理棟別館が新館北側に完成、この建物は小規模ですが、本館解体中の施設の受け皿として機能し、新館への電力供給も行なっています。1階には医療廃棄物保管庫やゴミックなどが設置され、超急性期医療を担う新館のサポート機能を担う建物になります。

高機能な病院として全面的な改築を行った新館

外来センターと北館の完成後は新館の耐震工事や改築を行ない、7月31日には検査部門が3階へ移転、最新機器の導入とともに、高精細な検査や緊急検査、難しい治療や処置に対応できる環境を整えました。1階ではERの拡充に合わせCT、MRIの移設に伴う機器の更新を行ない、より効率的な救急医療が展開できるようになりました。8月18日には4階に救命救急病棟とICUが移転、すべて2対1の看護体制を行なっています。多職種が病棟に常駐してチーム医療を行なうと共に、ハード面では世界標準の構造設備になりました。

新館2階に手術室を新設

8月27日には新しい手術室が運用を開始、7室の手術

室は広く使いやすくなっています。新たに手術室映像配信システムを導入、手術室内のあらゆる画像、映像を処理し、他の部署への配信や編集保存が可能になりました。手術室は急性期医療の中核であり、手術室のハード、ソフトの充実が、これまで以上に求められています。

新本館の建設

11月19日には新本館の起工式が行なわれ、完成すれば免震構造の地下1階、地上13階、屋上にヘリポートを有する建物となります。1階はERが拡充され、2階には4室の高機能手術室が加わります。3階は外来センターと陸橋で結ばれ、血管造影や内視鏡センターを有する総合的な検査フロアとなります。4階にはCCU18床が開設され、4階フロア全体で54床の高規格病棟となり、5階は脳卒中対応のSCU30床の専門病棟となります。再来年の秋頃には全館フル稼働になる予定で、高度救命救急医療を担う近森病院にふさわしい医療を展開できるよう、スタッフ一同、2年後の体制作りを考えた取り組みをしていただきたいと思います。

夢のプロジェクト

みんなの青春の思い出がいっぱい詰まった江ノ口川南のポウルジャンボ跡地を利用させていただくことになり、現在、近森リハビリテーション病院を新築移転すべく基本設計に入っています。地上8階建ての免震構造を有する建物で、すばらしいリハビリテーション病院ができると期待しております。

リハ病院移転後は、近森オルソリハビリテーション病院が入りアメニティも改善、本院に隣接して急性期とのより密接な連携がこれまで以上に図れるものと考えています。オルソリハ病院の建物は、現在メンタルリハで行なっている精神障害者の在宅サポート機能と、障害者福祉サービスセンター「ウェーブ」の精神障害者を中心とした社会復帰、就労支援機能を統合し、障害があっても地域で自立して楽しく暮らせるよう、支援できる施設をと考えています。

本来あるべき医療を提供

病院は地域住民のための公的な存在であり、医療の質を上げ、患者さんにとっていい医療を提供し続けることが病院の使命だと考えています。今後も近森会グループは自己変革を続け、県民、市民に本来あるべき医療を提供し、新しい日本の病院モデルを目指していきたいと考えています。

C型慢性肝炎（前編）

近森病院消化器内科

主任部長 榮枝 弘司



1989年にC型肝炎ウイルス（HCV）が発見されましたが、特に最近のC型慢性肝炎の研究と治療の進歩はめざましく、数年後には経口剤にて90%以上の患者さんが治癒する時代になってきます。この治療の歴史と進歩について御紹介します。

●非A非B型肝炎ウイルスから C型肝炎ウイルスへ

1982年に医師として最初に担当したのは、非A非B型慢性肝炎の入院患者さんでした。当時は原因不明のため根本的な治療法がなく、安静と肝機能改善剤による対症療法を行うだけで、肝機能の値に患者さんと一緒に一喜一憂していました。

1989年にC型肝炎ウイルス（HCV）が発見され、輸血で感染する非A非B型と呼ばれていた肝炎のほとんどがC

型肝炎であることが判明しました。この発見を受け、世界に先駆けて日赤は89年12月より輸血スクリーニングを開始し、その後の精度向上により輸血後C型肝炎の発症は激減しました。しかしHCV保菌者は200万人近くに増えており、肝硬変・肝癌に高率に進行することから、治療法の発見が急務でした。

●インターフェロン（IFN）治療による ウイルスの排除と肝発癌の抑制

HCV発見前の1986年に非A非B型肝炎に対してIFN治療が有効であることが海外で報告され、日本でも臨床試験が始まりました。肝庇護剤が効かず肝機能高値が続いていた初期肝硬変の女性に参加を勧め、IFN治療を半年間したところ肝機能が持続正常化し、6年後の肝組織では線維化がほとんど

なくなっており、その効果に驚きました。というのも当時は肝硬変の線維化が改善することはないと言われていたからです。

1992年IFNの24週間投与がC型慢性肝炎に保険適用され、約30%でウイルスを排除できることが分かり、IFN治療が一気に広がりました。それまではC型慢性肝炎は治癒することはないとされていたので、約30%も治癒することはその当時としては画期的で、私も前任地で1992年から1995年にかけて約220人の患者さんにIFN治療を行い、約36%の患者さんでウイルス排除（著効）ができました。ウイルスが排除出来た患者さんでは、発癌率が極めて低率になることも判明しました。当院でも、これまでに著効した患者さんで、IFN終了5年以上以降で肝癌を発症した患者さんは投与前肝硬変であった1人だけです。

その後の研究で、HCVには1a、1b、2a、2bなどの遺伝子型があり、日本人の約7割はIFNが効きにくい遺伝子型1bであり、効きやすい2a、2bは3割であることがわかりました。ウイルス量も関係しており、遺伝子型1bかつ高ウイルス量の患者さんへのIFN単独投与では、著効率が数%にとどまることが判明し、難治例と言われるようになりました。この難治例の治療成績の向上を目指して、世界中で研究が進められました。

さかえだ ひろし

1月の歳時記

梅

近森病院医療相談室

医療福祉部ソーシャルワーカー

三浦 梢



「梅は百花にさきがけて咲く」といわれるように、寒い冬をじっと耐えて春の訪れをいちばんに知らせてくれる花です。江戸時代以降は花見といえどもつばら桜の花を見ることとされていますが、奈良時代以前には「花」といえば梅を指すことのほうが多かったとのこと。寒い冬の朝に梅の小さな花や優しい香りに気づくと、春を想って少し温かい気持ちになります。 みうら こずえ

絵・総務課
広報担当
公文幸子



「悪銭身につかず」という箴言がありますがそれに似た物言いで「良い習慣は身につけにくく、悪い習慣にはすぐ染まる」があります。「習慣」は「習って慣れる」というように努力して同じことを何百回も繰り返して初めて体が覚えるようです。

「3千回同じことを繰り返せば身につく」といったプロ野球選手もいますし、先日のハートセンター10周年記念講演をされた順天堂大学心臓外科天野篤教授も「手術の7割5分は無意識に手が動いて終わる」と最近のインタビューで述べられていたように、習慣とは同じことを繰り返して究極的には無条件に体が反応することかも知れません。

その習得には並大抵の努力では不

十分かも知れません。良い習慣が身につけば仕事はスムーズに進めることができ、また他人に迷惑をかけることも減るはず。医療安全あるいは診療録管理の委員会活動をしていて、身につけて欲しい習慣があり

ます。例えば配信されたメールは必ず見る、使った電子カルテは必ず終了して席を離れる、サマリーは期限内に記載する、などです。

最近、「江戸しぐさ」といわれる生活のなかで活かす習慣一例えば傘をさしてすれ違う時にはお互いが傘をかしげるしぐさを取り上げられることも多くなりました。皆が生活のなかで気持ちよく過ごせる習慣ですね。

習慣づけの第一歩は座った椅子を元に戻すことです。習慣の持つ力を信じましょう。

— 私の流儀 — 3

良い習慣、悪い習慣



近森病院神経内科
主任部長
やまさき まさひろ
山崎 正博

救急カートの統一で迅速な救命処置を！ —環境面からのサポート—

近森病院救命救急センター
救急看護認定看護師

シニア看護師長 和田 道子

私が認定看護師になり最初にうけた
相談は救急カートに関する相談でし

リレーエッセイ

親心？

近森病院北館 HCU 看護師
島倉 充



私事ですが、昨年秋に長男が誕生し一
児の父親となりました。立ち合いはしな
いといっていたのですが、成行き上立ち
合うことになりました。生まれる前日私
は夜勤で、助産師さんからは「今晚でし
ょうね」といわれており、後ろ髪を引か
れる思いで仕事に出かけたことでした。
夜勤中連絡はなく、勤務終了後急いで
病院に駆けつけると病院スタッフが歓
声を挙げ、皆が「すごい、間に合った。
赤ちゃんが父さんを待っていた」とい
っていました。「奥さんも一人で頑張
っていましたよ」とのこと。これで逃げ
たら男がすたるでしょう。

早いもので、あれから二カ月ほどが
経ちます。生まれる前、私はよく冗談
で「もし万が一、私に何かあっても
弘（長男）がいるから大丈夫、残りの
ことはきっと息子がやってくれるから」
などといっていました。実際にズシリ
と重い我が子を抱いていると、何だか
それを思い出します。私は特別偉業を
成し遂げてはいませんが、子供には何
かしらそんな期待を持ってしまふもの
なのでしょうね。私も長男で、今なら
かつての両親のそんな気持ちも想像
できるようになりました。もしそう
であれば、まだまだ何もやってない
と思うばかり。ちょっと看護書でも
開いてみますね（笑） しまくら みつる



▶救急カートと
▼その引き出しの中身



た際、「迅速な対応ができにくい」と
の声が聴かれました。蘇生処置の対応
に遅れを生じないためにも、同一機種
で収納場所や使用物品を同じにするこ
とを望むものでした。

院内統一が望ましいとの考えは、医
療安全や医療の質の面からも言われて
いることであり、院内の心肺蘇生委員
会・救急委員会に提案しました。救急
カート新規購入の決定をうけ（全病棟
統一）、物品・薬剤の再検討も行いま
した。合わせて、ME室の協力を得て、
バックバルブマスクなどの滅菌物を
中央管理にし、使用後は物品交換とし
てできるだけ救急カートには余分な
ものを詰め込まないようにしました。

現在の物品や薬剤が絶対ではなく、
運用しながらまた意見を集め、迅速
な蘇生処置ができるよう、環境面での
整備にも力を注ぎたいと考えています。

わだ みちこ

た。各部署の現状を知るため、病棟に
でかけ聞き取りおよび現物確認をした
ところ、以下の問題点が上がってきま
した。

- ・物品がカートの引き出しに収納し
きれない
- ・カートが大きく病室で使いづら
い
- ・使用しない薬剤もある
- ・薬剤の種類がいつの間にか増え
ている
- ・開けづらい扉があり無理に開け
て破損している
- ・部署が違えば収納場所が異なり
見づら、機種も違い戸惑う

とくに部署により収納場所が異なる
ことは、緊急コールで応援に駆け付け

●● クリスマスコンサート ●●

高知コーラス合衆団さんが今年もクリ
スマスコンサートにきていただきました。



12月8日、近森病院第二分院、近森リハ病院、近森オルソリハ病院の3病棟で行われました。



メディカルスタッフ・ワークウェア7

モデル・明坂洋介さん、寺川幸さん



看護部の制服チェンジと同時期に、介
護福祉士もワークウェアに変更しました。
看護師と密に連携して、患者さんの身
体的なケアはもちろん、精神的な支
援も行う患者さんにいちばん近い職
種です。機能性に優れたワークウェア
によって、より活動性に磨きがかかり
ました。

患者さんが在宅に帰れるように、多
施設との情報交換はもちろん、家に
帰ってからの介護指導など、よりそ
の人らしい生活ができるよう支援を
続けています。「患者さんからいた
だく感謝の言葉が、何よりのエネ
ルギーになります」という介護福祉
士たちは、今日も患者さんの心の
声を聴き、患者さんの笑顔のため
に奮闘しています。

高知中央医療圏脳卒中地域連携の会
第20回合同会合「症例検討会／講演会」

224名の参加を得て



高知中央医療圏
脳卒中地域連携の会事務局
近森病院脳神経外科部長 高橋 潔



▶講演中の岡本先生

2012年12月16日、総合あんしんセンターで224名の参加を得て、第20回高知中央医療圏脳卒中地域連携の合同会合が開催されました。

症例検討会では、脳卒中の患者さんは一年間でこんなにも多くの人に関わりこれほど変化していくものかということを感じました。引き続いて行われたトヨタ記念病院 岡本泰岳先生の講

演会ではトヨタ流のカイゼン、現地現物主義の神髄をお聞かせいただけました。

医師会副会長の寺田先生や、行政からは高知県健康政策部医療政策・医師確保課中村企画監の出席もあり、地域全体で脳卒中の連携を高め患者のよりよいQOLを目指すという雰囲気が醸成されていました。

また、ケアマネジャー21名の参加

があり、病院間から地域全体での連携向上に向け、走り出した印象でした。ご協力いただいたみなさまに感謝申し上げます。

たかはし きよし



ドイツのシャルロテンブルク宮殿の前で

職員旅行



九州湯布院に行ってきました

お知らせ 医療従事者対象

◆第106回地域医療講演会
「脳神経外科からみた最近の脳卒中治療」
群馬大学大学院医学系研究科
脳神経外科学分野教授 好本裕平先生
日時：平成25年1月17日(木)
19:00～20:30
会場：ザクラウンパレス新阪急高知
(旧高知新阪急ホテル) 3階蘭の間

◆第107回地域医療講演会
「現代医学の病名・病態から漢方薬をChoiceする
～明日からすぐ使える漢方講座～」
十全総合病院内科医長 浅羽宏一先生
日時：平成25年2月19日(火)
18:30～20:30
会場：近森病院管理棟3階会議室1

看護部
インターンシップ
受付中!



詳細は近森病院ホームページ (<http://www.chikamori.com/>) へ

- ① E R部門 「ワクワクドキドキの救命救急センター1日体験コース & ちょっとだけ…、覗いてみたい ER 半日体験コース」
- ② 整形外科部門 「見て・触れて・着けて わくわく体験ミステリーツアー」
- ③ 脳卒中部門 「脳卒中看護を急性期から回復期まで、まるっと体験！」
- ④ 精神科部門 「楽しい精神科看護 ～とびっきりの冬季体験コース」

ワイン講座 ● 7

北イタリアのワイン産地

観光、ファッションの中心地 トリノやミラノがあるエリアといえば、ピンとくる方も多いのではないのでしょうか。北イタリアのワイン産地は、ピエモンテ州、ロンバルディア州、ヴェネト州など代表に、スター的存在のワインを多く造り出しています。

イタリアは、独自のぶどう品種が何百もあるといわれていますが、このエリアに限っては、フランス、オーストリア、スロベニアなどと地続きのため、その国の文化や、作付けされているぶどう品種や、ワインのスタイルも何らかの影響を受けているといつて過言ではありません。

また20年ほど前に起きたイタリアワイ

ナルペーラ・ダスティ2006/トリノケロ/飲み頃になって出荷する数少ない生産者。イタリアワイン入門編としてどうぞ。

ン・ルネッサンス。そのなかで代表的な流れは、ピエモンテ州を舞台に「バローロ」を造る生産者が、ワイン法や伝統に縛られないでワイン造りを行ない、フランス流ともイタリア流ともいえない独自のスタイルを築き、世界中から高い評価を得ました。そして、その流儀は大きな波となってイタリア全土に広がりました。



鬼田 知明(有限会社鬼田酒店代表)

CT 装置 (その1)

近森病院画像診断部
診療放射線技師長 高橋 宏幸



高橋技師長の心臓 64 列の CT 画像

英国エリザベス女王が来日した昭和 50 年、同じ英国から頭部用 EMI スキャナー (頭部用 CT 装置) が日本に輸入されました。レントゲン博士が発見した X 線によってエジソンは自分自身の脳が見られると考えたそうですが、こ

の EMI スキャナーが登場するまで脳は画像化できなかったのです。

EMI スキャナーの撮影時間は 1 回転 5、6 分かかっていました。現在では 1 回転 1 秒以下という短時間で画像が得られ、広い範囲を短時間で、その上より少ない X 線量で撮影する技術を各社競っています。その技術は撮影領域を動きのない脳から動きのある心臓へと広げました。

用して三次元画像が作成できるようになったことでしょう。手術や治療、診断の支援画像として必要不可欠となり、当院では 2001 年、高知県初の 8 列 CT 装置と画像処理ワークステーションが導入されて、本格的な三次元画像への幕開けとなりました。

今回は、最新 64 列 CT 装置とその画像のご紹介をいたします。お楽しみに。

CT 画像の進歩は、撮影データを利

たかはし ひろゆき

ハッスル研修医

毎日熱い研修



初期研修医 塩田 尚史

高知大学とのたすきがけで 1 年目を近森病院で研修させてもらっています。現在は循環器内科をローテートしており、毎日熱い研修を受けています。

4 月の時点では本当に何もできませんでしたが、今になると少しずつ仕事も分かってきて、忙しいながらも充実した日々を送っています。(相変わらず今もほとんど役には立てませんが……)

最初に麻酔科、次に整形外科、ER と回っていて、内科を回り始めたのが 10 月と皆より遅れてスタートしており、はじめは病棟業務が全く分からずに苦労しました。そんななか色々な人に助けられてここまでやってこられたのでよかったと思います。

1 年目は救急疾患を中心に忙しい環境で研修をしたいと思い、近森病院を選択しました。救急車のサイレンにも慣れ、診察や検査を行っていく過程はとても勉強になります。たまにたいへんな時もありますが、そんな場面も乗り切ることができれば成長につながると思います。近森病院の研修も折り返し地点を過ぎましたが、残りの期間も頑張っていきたいです。

しおた なおふみ

院外エッセイ

最期までいつもの暮らし

公文 公子

1932 年 6 月高知市生まれ。

1945 年 4 月県立高知第一高等女学校入学。

1951 年 3 月高知県立高知追手前高等学校卒業。

1951 年 4 月高知郵便局勤務。1992 年

8 月高知中央郵便局退職。



私の母は平成 22 年 7 月、明治、大正、昭和、平成と激動の時代を生き抜き、98 歳 5 カ月の生涯を閉じた。

ハタチで嫁ぎ 25 歳で未亡人となって以来、女手ひとつで私を育て、そのうえ私達夫婦は共働きであり、この時代託児所はなく、三人の孫を母親以上に面倒をみてくれて、78 年間母と私は互いに助け合いながら仲良く暮らした。

90 歳を過ぎた頃から心配で足腰の鍛錬に家の裏にある空き地を散歩させ、毛糸でたわしを編むことや、洗濯物の後片付けをして、一日の献立を記録させていたが、何となくゴロゴロすることが多くなってきた。

転機の訪れたのは、平成 17 年 3 月兵庫県に住む娘の家の階段から落ちて肋骨を折り、入院したときからである。

「昔人間」のため魚・鶏肉と野菜以外は口にしなかったため、看護師さんから「嫌いなものは言ってください」の言葉には、恥ずかしくて嫌いなもの一部しか言わなかった。

いちばん最初に牛乳が出てきて困

たが、案ずるより実践とそのままにしたら「美味しい」と言って飲んでくれた。カレーライスやその他の肉料理も食べた。

入院中に介護の認定を受けるようにと勤めてくれたので、退院してすぐ認定を受けて、デイサービスにお世話になり始めた。

大好きなデイサービスから帰宅したら一日の様子を生き生きと話してくれた。休日には脳を鍛える大人のドリルをした。計算ドリルは速くて正確にできるが、音読と漢字は、難しくて半分もできないので嫌いであった。亡くなる一カ月ほどまえ音読ドリルが何日分も満点であるので不思議に思いそっと部屋を覗いてみると、巻末に出ている答えを一生懸命写しているのには驚いた。

最期まで、要介護 1 で自分のことは自分でできるし、お箸を使つての食事はもちろん、トイレも、お風呂も自分で入り、普通の暮らしができたのはデイ・ケアのおかげと感謝の気持ちでいっぱいである。

近森リハビリテーション病院 ● オープンホスピタル 全職員で企画、開催

近森リハビリテーション病院
事務長 内田 陽子

12月1日(土)、第1回目の近森リハビリテーション病院オープンホスピタルを開催し、91名の参加がありました。

今回のオープンホスピタルは当院で働く全職種が参加し、企画運営しまし



た。病院見学、就職説明に加え、「脳を知る」「座り心地」「ベッド・車椅子介助」「安全に美味しく食べる」の体験ブースを設置し、病院での仕事は、多職種が協働して行っていることを体



験してもらいました。

参加者全員からアンケートで、参加して良かったとの言葉をいただき、なかでも「やさしく教えてくれた」「説明がわかりやすかった」「丁寧な説明に感動した」等、スタッフに向けての好感想を多くいただきました。

今回参加していただいたみなさんといつの日か一緒に働けるようお願い、次回開催に向けてより魅力的な会にしていくよう努めます。 うちだ ようこ

四国で認定第1号!

近森病院循環器内科
科長 要 致嘉

2012年10月より、従来のペースメーカーに加え、条件付きMRI対応ペースメーカーが使用できるようになりました。ペースメーカーの機能自体は、従来のものと変わりありませんが、「ある一定の条件」が整っていれば、MRI検査にも対応できるというものです。

今後、新たにペースメーカー治療が必要になった方が、MRI検査を必要とする場合は、この条件付きMRI対応ペースメーカーが有用と思われます。今回の「MRI検査施設認定」は、私たち近森病院が、このような患者さんに、「適切に、安全に、MRI検査を実施できる



12月「クリニカルパス学会」のランチョンセミナーで講師を務めた3人で。左から吉永主任シニア看護師長、濱口看護師長、筆者

施設である」という認定です。

「ある一定の条件」には、MRI対応ペースメーカーを装着していること、ペースメーカーやリードコンディションが良好であること、適切な撮影条件でMRI検査が行えることなどが条件になります。条件の確認には、看護師、臨床工学士、放射線技師、循環器科医師、放射線科医師など多くのスタッフがその役割を担うことになります。

今回、「MRI検査施設認定」にあたっ

ては、検査の手順や役割を明確にするため、浜口看護師、吉永看護師、濱渦臨床工学士らと院内パスを作成しました。今後も、一人ひとり、多くの患者さんに対応できる近森病院であり続けたいと思います。

かなめ のりよし

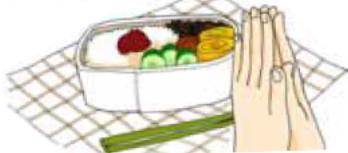


第18回「めまい」(128分)

日時: 2013年1月17日(木) 18:00~
場所: 管理棟3階 大会議室3(西)
監督: アルフレッド・ヒッチコック/公開: 1958年(米) / 一見サスペンス風、実際はラブストーリーという展開です。髪型と服装でいかに女性が変わっていきけるかを見るのも楽しみな映画です。



お弁当拝見 10 ラクにおなかいっぱい



本日の私のお弁当は、豚肉と野菜の炒め物、ナスの揚げ浸し、ブロッコリー、だし巻き玉子、おにぎりです。いつもはもっと茶色いお弁当なのですが、今回はひろっぱに載るといことで、彩りを考え赤パプリカを使ってみました。

お弁当に関して3つのこだわりがあります。まずは、お肉を入れること。お肉のない食事はお腹がはりません。次に、お

秘書課
竹内 朋美



弁当箱は2つ。1つではお腹がはりません。そして、ラクに準備できること。月の半分を占める早番の日は6時半には家を出るため、朝に出勤の準備・家事・お弁当作りをするとすると、独身の身でものんびりタイプの私は4時台に起きなければなりません。それは避けたいので、今の寒い時期は前日に夕食と一緒に作るか、夕食



後の隙間時間に作り、冷蔵庫で保存しています。もちろん、お弁当を作らず食堂や売店を利用することもよくあります。

ところで今回のお弁当、彩りに気をとられブロッコリーの味付けを忘れちゃいました。まあ、健康のための減塩ということでも…。

たけうち ともみ

乞！熱烈応援

リハビリテーション部の 組織体制について



リハビリテーション部統括部長
松木 秀行

近森会のリハ部は、所属する理学療法士185名、作業療法士84名、言語聴覚士31名、臨床心理士3名で、300名を超える人数になりました。

今回施設ごとの特長を活かしたリハサービスの質と向上を目指した運営を構築していくために、近森病院と近森リハ病院にリハビリテーション部部長を配置した、新たな組織体制となりました。

まつき ひでゆき

緊張感を持ちつつ楽しむ

近森病院作業療法科
主任 田村 美穂



就職して4年が経過し、患者さんやたくさんの方々の職員の方々にさまざまなことを教えていただき支えられ、とても感謝しております。まだまだ未熟で発展途上な自分に今回いただいた役割が担えるのか不安もありますが、一方で自分のワークライフやOTとしての成長にどのように繋げていけるか楽しみも感じています。部署内や他部署との日々の業務が円滑に進むよう、力不足ですが努力していきたいと思っております。

たむら みほ

まずスタッフと対話

近森病院リハビリテーション部
部長 国澤 雅裕



気づくと7年目の勤務となりました。この間、井手元科長が長崎に帰られた後のリハ病院理学療法科を引き継ぎ、オルソリハ病院の立ち上げが決まるとその当初から関わらせていただき、あっという間に5年が経過しました。今回松木統括部長の命を受け近森病院に戻りましたが、7年振りの職場は93名の大所帯、リハ病院から一緒に移動した川淵科長補佐と共に、顔と名前を覚える苦労をしています。自分の役割はひとえに「スタッフが働きやすい、自己実現が出来る職場の構築を図る」と思っているので、スタッフと対話することから始めていきたいと考えています。

くにさわ まさひろ

新たな気持ちで

近森リハビリテーション病院
作業療法科科長補佐 矢野 勇介



就職して12年が経ちますが、今まで部署内外を問わず諸先輩方や周りのスタッフの方々に支えられながらここまでこれたと思っています。

これからは、今までの経験をいかし科長をサポートしながら、新たな気持ちで自分にできることを一つずつ行っていききたいと思っております。まだまだ微力ではありますが、少しでもスタッフが働きやすくやりがいを持ち楽しく仕事が行える職場となるよう日々精進していきます。

やの ゆうすけ

調整役として

近森リハビリテーション病院
リハビリテーション部
部長兼地域支援部部長 小笠原 正



2010年6月に近森リハビリテーション病院にある在宅部門の見直しにより、地域支援部部長を拝命しました。この度は近森リハビリテーション病院のリハ部長を拝命し、回復期と生活期の両時期におけるリハ部門の業務を調整することとなりました。

以前は、回復期から生活期へ途切れの無いリハサービスを提供するため、在宅部門の調整を行うことが大きな役割と考えていましたが、今後は近森リハ病院におけるリハ部門の調整役としても頑張りたいと思っています。 おがさわら ただし

心機一転

近森オルソリハビリテーション病院
理学療法科科長代理 塩田 直隆



主任としてリハビリや業務管理、教育といった業務に携わってきました。今までは周りのスタッフに支えてもらいながら自分なりに成長してきたつもりですが、自分自身まだまだ不十分な部分もあり、今回の辞令で新しい環境に変わり、役割もより重要になってくることで不安を感じています。慣れない業務に右往左往し、周囲のスタッフに助けをもらいながらの毎日です。これからは、助けられる側から助ける存在へと日々精進していきたいと思っています。同時に働きやすい職場作りや頼れる存在として気持ちを新たに邁進していきたいと思っています。

しおた なおたか

出張報告



GE Japan Exective Program 2012 に参加して

近森病院消化器内科
科長 近森 正康



× A (社員の受容度) = E (効果、結果) というものがありました。クオリティだけを求めても社員の受け入れが悪いと良い結果が得られないことになりま。職員の受容度を高める手法としてぜひ実践してみたいと思いました。

2012年10月6日から1週間、GEヘルスケア主催のアメリカ研修に参加してきました。

前半はニューヨーク郊外にあるGEの企業内大学である John F.Welch Center (通称 Crotonville) でGEの経営手法について学びました。GEは世界中に30万人の従業員を持ち、人材や組織の強化=会社の成長であるという考えのもと、リーダーシップ開発といわれる人材育成に年間10億ドルもの投資をしています。人材を評価する際にはパフォーマンス(業績)とバリュー(どのように行ったか)という二つで評価しており、バリューを重視することにより全社員に共通の倫理観、慣習を確立させて企業文化を育んでいったそうです。

また、社員のやる気を引き出し、階層、境界のない組織作りのための手法として、ワークアウトというものを学びました。トップから指示された事項を小さなグループを作り効率的に話し合いをすすめる即決型の問題解決手法です。そのなかで高い効果を出すための方程式としてQ(計画のクオリティ)

後半はニューヨーク州のボンセロアーズ病院(慢性期病床)とペンシルベニア州のUPMC(ピッツバーグ大学)子供病院に見学に行きました。UPMC子供病院は全米でもトップクラスのIT先進病院として注目されている病院で、院内のみならず地域のかかりつけ医ともITネットワークで結ばれ、テレビ電話での診療が行われていました。高知県も郡部の医療過疎が深刻な問題として取り上げられていますが、そういった問題を解決する糸口の一つになるかもしれないと感じました。

今回の研修で今後の仕事に生かせるような皆さんのヒントを得ることができ、こうした機会を与えていただき、ありがとうございました。

ちかもり まさやす

MVP表彰 (受賞者敬称略)

近森会グループ MVP



後列左から、菅根裕紀①、佐島和晃①、古曾部和彦①、田井龍太①、根岸正敏⑤ 近森正幸理事長②、山内学⑤、川久保和子③、佐々木美樹⑤、鄭明守⑤、西田幸司⑤、楠目祥雄⑤
前列左から、吉永富美③、田村裕彦④、林夕起④、五藤綾美④、重清知子①、久保田聡美③、和田恵美子⑤、山本佳代⑤、小倉夢⑤

①コーチレゾ1グランプリ受賞チーム、②プレゼンター、③引越しプロジェクトチーム、④健康保険組合、⑤個人受賞

ハートセンター MVP

後列左から、プレゼンター楠目祥雄、川井和哉、入江博之。前列左から、加藤史子、宮島功、西森久恵、井上紗江、中島基善(日本光電)



私の趣味

趣味は、音楽!!

薬剤部薬剤業務補助員 山崎 亜里紗

近森会に勤めてもうすぐ3年目になります。普段は薬局で調剤や事務処理など、薬剤業務補助員として薬剤師さんをサポートできるよう努めています。

さて私の趣味は、なんといっても音楽です。中学でトロンボーンを吹き始めてからずっと続けています。今は働きながら地元で開かれる演奏会に参加したりして活動を続けています。最近では、ある病院で高校時代の部活仲間5人で演奏する機会がありました。ご老人向けに童謡や唱歌を中心に選曲し、5重奏にアレンジして演奏



しました。こんな風に、楽器を続けることで音楽を通して出会った人たちとずっと繋がってられるのは嬉しいことだなあと感じています。

今、1月末にあるオーケストラの定期演奏会に向けて練習しています。今回は世界

※1月27日(日)14時開演、県立県民文化ホール・オレンジホールにてコンサートを開きます。



的ヴァイオリニスト・五嶋龍さんをはじめ、いつもより多くの一流演奏家の方々と共演となっているので今からとても楽しみです。精一杯頑張ります!よかったらぜひ聴きにきてください♪ やまさき ありさ

人物ルポ 275 ●近森会オフィシャルカメラマン 岡本 明才さん

仕事と写真、 一手間を惜しまずに

2012年近森会忘年会の表彰式で、テキパキ指示を出す岡本オフィシャルカメラマン



「一体何者？」と思う人も多いだろう。病院内で彼を見たことがある人は「医療スタッフ」としてだろうか、「イベント撮影などを行うオフィシャルカメラマン」としてだろうか。どちらも正解だ。

彼は四国管財株式会社社員として、近森病院でポーター業務（患者さんや検体の搬送など）に当たっている傍ら、近森会オフィシャルカメラマンとして、イベントに限らずCM素材やホームページ写真撮影など幅広く活躍している。経歴はちょっと个性化的だ。建築現場でとび職をしていたかと思うと、プロのカメラマンとしてスタジオで働いていたこともある。

本格的に写真を撮るきっかけは、高知の残したい風景を展覧会で発表して単行本にする「高知遺産」プロジェクトに関わり、当時住んでいた東京で巡回展のお世話をしたことだった。何かを伝える手段としての写真の持つ力に気づき、前後してピンホール技法の写真をたまたま見たことで今度は撮り方にハマり、次々作品を創り始めた。自分の住む沢田マンションの部屋自体をカメラに仕立てて8時間かけて撮影し、そんな執念がやがて各地の個展へ

東京で開いた最初の個展での代表作品「camera to camera」（2008年）



ふだんは近森病院のポーターをしています！



住まいを背景に

下2点は沢田マンションギャラリー room38の作品。水曜休廊。来春1/24~2/5個展予定



繋がり、来春は遂にニューヨークでの個展も予定されている。

そんな彼が心がけているのは「一手間を惜しまない」こと。常にマニュアルモードで撮影するのは自分にしか写せない世界を目指しているからだし、その為に30分前には現場入りをして調整を行う。カタい表情になりがちな講師の撮影では、表情の変化に予測を立てて一呼吸早くシャッターを押すし、得意の集合写真ではテキパキ指示してザワつかないうちに撮り終えるように心がけている。ポーター業務でも、事前に病棟別、検査別に資料の色分けしておくなど用意周到だ。「ちょっとした手間で、実業務の無駄が大幅に省ける」のだそう。実はこれは友人である料理人のアイデアを貰ったものだが、納得できる結果に繋がっているという。他の人では撮れない写真を撮るという意欲に溢れ、写真は人生そのものと、喜びいっぱいの毎日だ。

ちなみに、「明才」は「あきとし」と読むが、作家名では「めいさい」である。どうぞお見知りおきを！

管理部長の こだわりヘルシー美食 31

近森会管理部長 川添 昇

毎年暮れになると須崎市から通勤している昔馴染みの戦友のような看護師（もちろん女性）から、養殖ものの魚をいただく。野見湾のものはほんとうに美味しい。養殖の臭いも全



くなく、何よりも新鮮。今回は先日いただいた



ハマチの照焼き



絵・総務課広報担当 公文幸子

〈材料〉

- ・ハマチの切身 大きさにより2切れ〜4切れ
- ・下味タレ
酒 大さじ1 油 大さじ1
おろし生姜 適宜
- ・仕上げタレ
酒・醤油・味醂 同量
砂糖 好みの甘さで
- ・ししとう 4〜6本 付け合わせ用

〈作り方〉

- ① ハマチの切身に食塩をふり10分程度おく
- ② 表面の水分をキッチンペーパーで取る
- ③ 下味タレに10分ほどつける
- ④ 汁気を軽く取り薄力粉をまぶす
- ⑤ フライパンにオリーブオイルを引いて裏表各2分程度焼く
※（ししとうを最初にさっと焼いて取出しておく）
- ⑥ 切身を取っておき、仕上げタレをフライパンで煮立たせる
- ⑦ 切身をもう一度フライパンに投入
- ⑧ 全体に照りが出るように煮詰める
- ⑨ 皿にししとうも盛って、さらに煮詰めたタレを切身にかけて完成

〈食べる〉

ブリより淡泊なハマチだがメタボの私にはぴったりの酒の肴である。よく冷えた土佐の大吟醸などが良く合うと思う。贈主の看護師は沖縄の男性と結婚して土佐に引っ張り込んでいる。子供ももう高校生と聞いている。両親の後姿を見て育っているのだろうなど思いを馳せながらの酒もオツなものである。

Karibu Tanzania!

発行 村上野志夫（青年海外協力隊平成22年度3次隊理学療法士）

yashio310@gmail.com

INDEX

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 1) 今月の一枚 | 4) ゴゴ族について |
| 2) 活動について | 5) 今月のスワヒリ語「ゴゴ語」 |
| 3) 首都ドドマの特産品 | 6) NINAFIKIRI HIVYO
～最近思うこと～ |



ラジオ体操

今月の一枚：Mazoezi ya radio

さて今月の一枚は、「マゾエジヤレディオ??? (Mazoezi ya radio)」の写真です。日本語に直すと「ラジオ体操」となります。これは他の協力隊員とムワンザ州の高校を訪ねてラジオ体操をした時の一枚です。見知らぬ日本人がする、初めて見る運動を、生徒が無邪気にしてくれる姿を見て、私たち協力隊員は感無量でした。みんな17～22歳の高校生たちです。こんなに素直な子どもたちが大きくなれば、この国の未来は明るいなと思い、改めてタンザニアに来てよかったと感じた瞬間でした。

活動について

私が活動始めて1年と8カ月が過ぎました。仕事には慣れて、やりたいこともできるようになってきました。さて実際の活動内容について、どんなことをしているか、少し紹介します。私の仕事は最近4本柱です。

① 理学療法業務

午前中は外来の患者さん。午後は入院の患者さんのリハビリをしています。外来業務は月曜日と金曜日は子供の日で火、水、木曜日は大人の日となっています。

さて、実際どんな患者さんが来るかというと、「木から落ちて腕を骨折した子供。牛に追突されて膝を痛めたマサイの戦士。スーダンで従軍中に足を骨折した軍人。頭にものを乗せて首を痛めたママ。太りすぎて腰を痛めたママ。家の炭コンロで火傷をした子供。脳卒中で半身が麻痺した人。脊髄性結核を患った青年。エイズによる神経疾患を患った人。糖尿病で足を切断した人。

・お尻への注射で足が麻痺した人。クラブフットと呼ばれる先天性の足の障害の子供。脳性麻痺の子供。脊髄損傷により足が麻痺した人。背中をナイフで刺されて足が麻痺した人。脳性マラリアで意識障害と体の麻痺を患った人。強盗に襲われて腕を切られた人。出産時の影響で足が麻痺した人。服役中に看守に殴られて足を骨折した囚人。」などなど、患者さんの疾患は様々です。そのなかでも多い疾患として、以下



腰痛



のものがあります。

NO.1 腰痛●腰痛を訴える患者さんは大半が女性です。というのも、アフリカの人たちの体型が影響しているようです。それは大きく反った腰と、体重過多、そして生活習慣だと思われます。高い腰、いわゆる理想的な体型をしているのですが、これが、前屈で調理や洗濯をする生活習慣や体重の増加、運動不足などと相まって、腰痛を患う人が多いと思われます。

NO.2 骨折●木から落ちて腕を骨折した子供や、交通事故による骨折の患者さんが多い。問題は骨の癒合後の状態が良くないことだと思います。日本のように手術ができないことや、術後、骨折後のマネージメントが不十分な場合が多々あります。

NO.3 首の疾患●小さいころから物を運ぶ際に頭に載せていたために、首の疾患から手足のしびれを訴える人が多いです。

NO.4 脳性麻痺●日本に比べ出産時の医療が未発達なこともあり、出産時に仮死状態で生まれて脳性麻痺になる子供が多いようです。新生児期に脳性マラリアを発症する子供も多々います。



水を運ぶ

NO.5 脳卒中●糖尿病と血圧管理などの成人病疾患のマネージメントが十分になされていないため、都市部では富裕層は食べる量が増え、脂っこく塩分高いタンザニアの食事で太る人が多い。定期健診がないためか、高血圧からの脳卒中患者さんは40歳ぐらいの人が多く。その他さまざまな疾患の患者さんに対して、同僚と共に協力しながら仕事をしています。

② 5S・KAIZEN 業務について

これは5S・KAIZEN（ゴエス～整理、整頓、清掃、清潔、しつけ～、改善）のことです。整理整頓やシステム管理ができないために仕事の効率が悪い。まず受付がない。そのため、誰がリハビリを待っているのか、終わっているのか、患者さんの家族は誰なのか分からない状態でした。理学療法だけでも時間がかかるのに、システムがしっかりしておらず、ゆっくり患者さんと話ができないことにイライラが募る毎日でした。アシスタントナースはいても、掃除や物の補充といった雑用だけで、あまり機能していない状況でした。そこで患者さんの情報が分かる



子供のリハビリ

◀脳卒中患者さんのリハビリ▼受付業務



家庭訪問

よう受付カードを作り、受付テーブルを設置することを検討しました。

まず受付カードを手書きで作成し、徐々に配り始め、軌道に乗り始めたらハンコの受付カードを作成しました。そして受付業務台を即席で設置。試行錯誤の末、ようやくシステムが定着し、ついには病院側から机をもらうことに成功しました。文字にすると簡単ですが、システムを変えることのないへんさを実感しました。またシステム管理や、うまく仕事をしていくことについて話し合いをすることで、チームワークを感じることができるようになってきました。

もう少しこのメンバーで仕事をすれば、もっといいものができるのではないかと思う毎日です。

③ ラジオ体操

赴任当初、リハビリ中に患者さんに「腕を上げて～」と目の前で動作を見せていてもどうにも伝わらないことがありました。最初はスワヒリ語がうまく伝わっていないのかとも思っていました。少しずつ現状が見えてきて、ひとつの仮説を立ててみました。「小さい時の運動習慣が少ないため、模倣などの動きが苦手なのではないか」。タンザニアでは学校での運動教育があまりありません。ダンスは得意でも、運動をしたことがない人はたくさんいます。筋肉痛について知っている人もあまりいません。

日本では1928年からラジオ体操が始まったように、学校で体を動かす機会がたくさんあります。子供からお年寄りまでラジオ体操ができるのは、実はすごいことなのではないかと思いました。そこで、日本のラジオ体操のスワヒリ語版を作成し、患者さんや病院の職員を対象に実施することにしました。現在、仕事後の1時間を使って理学療法室にきた人と一緒にやっています。どこまで浸透するかが分かりませんが、運動の一つとして少しでも健康増進につながれば、と考えています。将来もしかしたら、タンザニアでラジオ体操が普及するかも、とはいい過ぎでしょうか。

④ タンザニアの理学療法士がやらないことをする

私はボランティアとして活動をしており、週末や業務後は、私生活が忙しい同僚の理学療法士よりも自分の時間があります。そこで、現地の理学療法士がやりたくてもできないことをしています。それは、1. 患者さんのお宅を訪問し、リハビリというよりは、お茶を飲みながら喋りに行く感覚です。2. 休日は障害者施設や障害者のNGO団体の見学。

タンザニアの現状や現地の人の生活を知ること、見えてくること、できることがたくさんあることを学びました。

首都ドドマの特産品～バオバブとワイン

ドドマの特産品はバオバブのオイルと石鹸、そしてワインです。ドドマにはバオバブがたくさん生えており、その実は食べることができます。またその種からは油を搾ることができ、これが良質の油として、現地の人たちに大人気です。タンザニアでは料理にも油をよく使いますが、身体



身体障害者施設にて



家庭訪問

に塗っている人が多いのが特徴です。継続して飲むことで痩せる効果もあるとのこと。ドドマに事務所がある日本の緑化NGO・EGAJ(エガジェ)でもバオバブ油を抽出、販売しています。このEGAJには椿さんという日本人女性がいます。彼女が中心となりバオバブ油の抽

出や商品の販売を行っています。

日本でアフリカのワインというと、まず南アフリカ産を思い浮かべますが、ここタンザニアでは、ワインといえばドドマとなっています。朝と夜の寒暖の差が大きいドドマでは、ブドウが良く育ちます。そしてドドマにはイタリア人経営のワイナリーがあり、ドドマ産ワインが売られています。いつの日か日本でもドドマのワインが飲めれば……、帰国後の楽しみの一つです。

タンザニアの部族について

タンザニアには部族が130ほどあると言われています。それぞれが独自の言語をもち、それぞれの文化を持っています。その昔は部族間の闘争などもあったらしいのですが、今では特になく、落ち着いた日常があります。というのも、初代大統領のニエレレがスワヒリ語で統一言語にしたからとも言われています。

今月のスワヒリ語～ゴゴ語

部族の言語は今でもしっかり使われています。ここドドマでは、ゴゴ族がいて現地語はゴゴ語となります。この現地語はすごいもので、少し話すだけで、ゴゴ族との距離がぐっと近くなります。皆さんもドドマに来られた際は、ぜひゴゴ語で挨拶を交わしてみてください。

朝の挨拶「Mbkweni ?」(ブクウェニ?) → 「Mbkwa」(ブクワ)
 昼の挨拶「Mihanyeni?」(ミハニエニ?) → 「Misaa」(ミサー)
 夜の挨拶「Za misi?」(ザ ミスイ?) → 「Suwanu」(スワーヌ)
 ありがとう「Sande」(サンデ)

NINAFIRI HIVYO ～最近思うこと

ここ最近、人とのつながりの大切さを感じます。仕事に出会う人たちはもちろん、街を歩いて友達と挨拶を交わすこと、患者さんの家を訪ねること、教会に行くこと、街角の寄合でコーヒーを飲むこと、いつもの市場で買い物をする事。

何気ない毎日のなかで本当にたくさんの人に出会い、言葉を交わしているんだなと思います。そして

そんな毎日を楽しく過ごしている自分に気づきます。残りあと3か月となりました。自分に出来ることを、出来るだけ精一杯がんばります。



ドドマワイン



オイル&石鹸